



新着図書案内



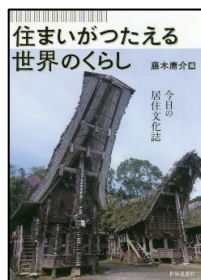
2016年12月発行



『サンタへの手紙』

サンタクロースさんへ。わたしはまだおちびだけど、ほしいものは山ほどあるの。クリスマスの伝統の黄金時代、1870年から1920年までに子どもたちがサンタに宛てた125通の手紙を紹介する。

メアリー ハレル=セスニャック // 選 クロニクルブックス・ジャパン



『住まいがたえる世界の暮らし』

世界にはさまざまな「人々の暮らし」があり、その土地の気候風土や住居、習俗習慣、生業、信仰などの要素が関連して多様な「生活のカタチ」が形成されている。世界各地における居住文化をわかりやすく解説する。

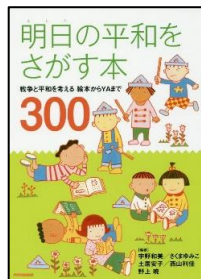
藤木 庸介 // 編 世界思想社



『世界の美しい本』

中世の豪華な装飾写本、初期の印刷本、17～18世紀の挿絵と図鑑、19世紀のプライベート・プレス、タイポグラフィの発達、花の様式の変遷…。美しい「紙の本」の壮大な歴史と物語を、豊富な図版とともに紹介する。

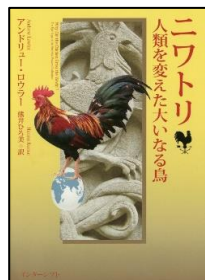
海野 弘 // 解説・監修 パイインターナショナル



『明日の平和をさがす本』

戦争と平和に関する子どもの本のブックリスト。子どもの本のプロたちが、2000年以降、2016年9月までに刊行された約5万冊から300冊を厳選し、読みどころを紹介する。本の舞台となった地域地図、時代年表等も掲載。

宇野 和美 // [ほか]編著 岩崎書店



『ニワトリ 人類を変えた大いなる鳥』

世界中で最も広範囲に分布している鳥類で、最もありふれた畜産動物、ニワトリはなぜ人類に欠かせないパートナーとなったのか？ニワトリの足跡を求めて、歴史・文化・科学を巡り、地球各地を巡る、驚きの文明論。

アンドリュー ローラー // 著 インターシフト



『パブロフの犬』

ミミズに知能はあるのか？脳を半分に切断したら何が起きるか？善人は悪人になれるのか？体外離脱は絵空事か？科学としての心理学の発展に貢献した重要な50の実験を取り上げ、人間心理探究の歴史に迫る。

アダム ハート=デイヴィス // 著 創元社



『はじめてのエシカル』

エシカルとは、目の前にあるものを通して、それを作ってくれる人たちを想像し、遠くの人や環境に配慮する社会になっていくこと。エシカルな暮らしのために、日常生活の中で簡単に始められることや、考え方のヒントを教えます。

末吉 里花 // 著 山川出版社



『見目が変わる博物館の楽しみ方』

自然史博物館にある標本や剥製の見方がわかれば、生物や鉱物、考古学の「知」の世界が広がります。博物館学から剥製や標本のつくり方、展示の工夫まで、博物館をもっと楽しめる「裏側」を紹介します。

矢野 興一 // [ほか]編著 ベレ出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。

『世界の美しい地下鉄マップ』

現地の香りただよふ路線図を、世界中から集めた地下鉄マップ。歴史的路線図や鉄道網の発展、地域ごとの特色、デザインの進化など、多様な視点で路線図に迫る。巻末に660都市・地域の路線データ付き。

マーク オープンデン // 編著 日経ナショナルジオグラフィック社

『日本の火山ウォーキングガイド』

「火山が活着している証」を見に、火山ウォーキングへ出かけてみませんか？火山のプロが全国各地の22の活火山を取り上げ、火口に焦点をあてたウォーキングルートや、見どころなどを、写真を交えて紹介します。

火山防災推進機構 // 編 丸善出版

『Border僕らの知らない国境』

ただの絶景ではない。ここには、人間が決めた目には見えない壁がそびえている。韓国×北朝鮮、中国×ロシア、シリア×トルコ、ドイツ×ポーランド、アメリカ×メキシコ…。一度は越えてみたい世界の国境写真を収録する。

メディアソフト

『元サルのお話』

科学へ突きつけられた挑戦状。我々は本当にサル=類人猿から「進化」してきたのか。博覧強記の人類学者がこれまでの科学的言説を総点検し、その誤りと過ちを舌鋒鋭く暴き出す。

ジョナサン マークス // 著 青土社

『東京道路奇景』

上下8層構造の交差点、墓地やグラウンドの下を通る道路…。東京の道路が織りなす珍しい風景=「東京道路奇景」ができた背景を豊富な図版写真とともに辿り、東京の「伸びしろ」を探る。現地確認ができるQRコード付き。

川辺 謙一 // 著 草思社

『著名人の切手と手紙』

切手の豊かさ、手紙文化の大切さを、著名人というテーマを通して味わい、楽しむ本。著名人の手紙、その人の肖像や作品をモチーフにした切手を紹介するほか、日本の著名人切手をまとめた切手人名録、切手の博物館ガイドも収録。

郵趣サービス社(発売) 日本郵趣出版(制作)

『完訳中世イタリア民間説話集』

単純素朴で簡明な口語体で書かれた100篇の物語からなる、イタリア文学史上で最古の独創性に富む短篇物語集。典拠が多岐にわたる物語を「杵物語(コルニチェ)」の体裁で語る。

瀬谷 幸男 // 訳 狩野 晃一 // 訳 論創社

『数学を使えばうまくいく』

13日が金曜日になる確率はなぜ多い？オークションで入札する最適額は？文学から彫刻、建築、ダンス、そして投資までを数学的視点で読み解き、わたしたちの世界に隠された秘密を明らかにする。

ジョン D.バロウ // 著 青土社

『ビッグヒストリー』

自然科学と人文社会学が融合したビッグヒストリーのテキスト。最新の科学の成果に基づいて138億年前のビッグバンから未来にわたる長大な時間の中に「人間」の歴史を位置づけ、「8つのスレッシュホールド」を軸に読み解く。

デヴィッド クリスチャン // [ほか]著 明石書店

『最古の文字なのか?』

ラスコーやアルタミラに描かれたのは動物の絵だけではなかった。欧州全体の洞窟に刻まれた32個の記号は人類初の文字だったのか？自ら洞窟に潜って記号を採取したカナダ人女性科学者がその謎に挑む。

ジェネビーブ ボン ペッツィンガー // 著 文藝春秋

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。